

—子どもの成長には「五感を研ぎ澄ます」ことが大切—

お話を伺った方 弓削さん



Q

普段はどのような活動をされていますか？

A

私たちは、京都で30年以上活動していますが、学校や、ご家族連れ、お年寄りなどいろんな皆さんを対象に、自然の中をご案内しています。その際には、「きいて、さわって、みて、かいで」の感性を大事にすること、誰でもが気軽に参加でき、教えたり教えられたりする「素人の素人による素人のための観察会」、そして自然に親しみ楽しむことで、自然を知り、自然を大切に考えてもらう「自然保護の世論づくりの観察会」の3つを、活動指針としています。

葉っぱ発見！



子どもたちを自然の中に連れて行くと、歓声をあげて喜んでくれます。男の子も女の子も自然の中の生き物は大好き。秋にはどんぐりを炒って食べてもらったところ、「思ったより甘い」と好評でした。「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」「食べる」の五感を使うことが人間の成長には大事です。「五感を研ぎ澄ます」というのは、テレビやゲームに囲まれていてはできないこと。ぜひ森林の中で、五感を研ぎ澄ます経験をしてほしいですね。

Q

森の中で子どもたちを見て感じることは？

A

森の味！

